

島岡 まな
法学研究科・教授

[研究]

- ・ジェンダー刑法学、特に再度の改正が予定されている性犯罪に関する研究を継続した。共著の『ジェンダー刑事法入門(仮)』の性犯罪、児童ポルノ、堕胎罪等の章を執筆し、2023年度中に書籍が公刊される予定である。
- ・安倍元首相殺害事件を契機に旧統一教会問題がクローズアップされ、2018年に全国霊感商法対策弁護士連合会で紹介した「フランスの反セク法」に関する取材が殺到したため、フォローアップ研究を行い、一般雑誌等に紹介記事を執筆した。
- ・フランスの法学者との関係も継続し、アンジェ大学のコロナ対策シンポジウムに登壇するために準備した原稿を共著書のために脱稿し、2023年に書籍が刊行される予定である。

[教育]

- ・Covid-19は収まってきたので3年ぶりに「刑法2」(250人履修)の対面授業を行った。しかし、全員が来ると密になってしまうため、学生に配慮し、Echo教室の全講義のLive配信と2週間の録画配信を初めて試みた。予習用にパワーポイント教材も事前に提供した。3年ぶりに対面定期試験を行い、無事に終えた。異議申し立てもほとんどなく、学生の満足度も上がってきたと思う。
- ・演習や大学院の講義は、通常の教室で対面で行った。
- ・修士2年の院生に授業の他に個別指導を行い、優秀な修士論文を完成させた。
- ・国際教育にも力を入れ、昨年に引き続き、オンラインでボルドー大の大学院生へフランス語の講義を行った。

[管理運営]

- ・副学長として、教育研究評議会や部局長会議に出席する一方、ダイバーシティ推進課と協力して様々な活動を行った。男女協働推進センターから改組されたダイバーシティ&インクルージョンセンター長にもなり、センター会議、各種セミナー・シンポジウム等を主宰した。
- ・JSTダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)の最終年度に当たり、総括シンポジウム、事後評価等にも関与した。
- ・JST全国ダイバーシティネットワークの代表幹事機関としての活動にも関与した。
- ・生命機能研究科倫理審査委員、データリテリacyフロンティア機構研究倫理審査委員、保育施設運営委員会委員も継続した。

[社会貢献]

- ・ジェンダー法学会の理事として、特に査読委員会委員長として、学会誌掲載論文の査読を行った。
- ・日本学術会議連携会員として、ジェンダー法分科会、LGBTQの人権保障分科会の活動も活発に行った。
- ・旧統一教会問題に関して2001年のフランス反カルト法に注目が集まり、テレビ、新聞など様々な媒体から取材を受けた。大変であったが、一般の人々のカルト問題に関する理解を深める社会貢献だと思い、ほぼすべてを受け入れて対応した。
- ・ジェンダー刑法専門家として、ダイバーシティ&インクルージョン推進担当副学長として、オンラインを含む数回の講演を行った。
- ・30%クラブジャパンの大学ワーキンググループ会議に、総長代理として数回出席した。